

# 令和元年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立和佐小学校

作成日

令和2年2月19日

## 1 教育目標

『心身ともに健康で、人間性豊かな実践力のある子どもを育てる』

## 2 学校自己評価についてのご意見

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の様子がよく伝わった（保護者85%以上）</li> <li>学校運営協議会による学校評価（学校運営等に関する評価書）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなの道徳」「心のとびら」の活用（100%）</li> <li>学校アンケート「私は学校がとても楽しい」（児童80%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学調、県到達度等において、全国及び県平均と同等になる</li> <li>学校アンケート「学校はよくわかる授業を工夫している」（児童・保護者85%）</li> </ul>
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地域の良さを伝える授業をしてほしい。</li> <li>教職員だけでなく、地域の方々の協力が子供達には必要です。</li> <li>学校運営上の課題について、地域が協力できることについては、相談してください。出来る限りバックアップします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめなくそうデーの取り組み等、子供の実態把握に努めていただき、子供達が健やかに育つよう尽力してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の学力向上とともに、生きる力を身に付けさせてほしい。</li> <li>読書をしない子が多いと聞く。読書への親しみが持てる取り組みはないか。</li> </ul>
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供達の安全は、保護者や地域をあげて子供達を守る必要があると思います。</li> <li>学校が困っていること、地域に協力してほしいことは学校だよりも掲載してくれればよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の自主活動（児童会活動など）を活発化し、自主性を育むとともに、当事者意識をもたせる取り組みが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い先生が増えている。学校に活力が出てくるのはよいことなので、しっかり育ててほしい。</li> <li>図書館の開放や読み聞かせ以外に、図書ボランティアへの協力など、保護者や地域の支援が得られないか。</li> </ul>
取組の適切性の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>今教職員が忙しい時代である。和歌山市も働き方改革を進めている。保護者や地域とより連携しながら、子供の教育に当たる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣は家庭のしつけであると思うが、学校から家庭への働きかけなど改善するための取り組みが必要ではないか。</li> <li>9割以上の子が、学校が楽しいと感じ、保護者も子供が楽しそうに学校に行っていると感じているが、残り1割の子供達に視点を当てた取り組みも必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育の専門家として、様々な取り組みをしてきている。これからの社会を生き抜く力を子供達に身に付けるために、頑張してほしい。</li> </ul>
改善年度に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だけでは、子供達一人一人と向き合う余裕はないと思う。そのために、保護者や地域は、学校運営に協力していくことが大切である。</li> <li>学校・園と地域、保護者が一体となって、子供達のために何ができるか考え、地域全体の教育力アップにつながればよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の自主活動を積極的に取り入れるなど、主体性や当事者意識を育む取り組みを、今後も推進して行ってほしい。</li> <li>いじめなくそうデーの取り組みをはじめ、ゆたかな心を育てる教育活動に取り組んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちの成長には、家庭との連携・協力が欠かせない。学校と保護者が共に子供の成長のためのパートナーとなれるよう取り組んでほしい。</li> </ul>

## 3 その他のご意見

・教職員は、子供のことをよく見てくれており、連絡帳や電話等で子供の変化を知らせてくれている。子供は一日の大半を学校で過ごしているので、毎日、毎週となると先生に負担になると思いますが、保護者としてはありがたい。

・園児と児童との交流は、互いの学びにもつながるよい機会であり、園児にとっては小学校へのスムーズな接続ができると思うので、積極的に取り入れていただきたい。

・時代は変わったきている。学校の課題が多様化・複雑化している。学校に出入りする外部講師等とも情報を共有し、課題解決につなげていく必要がある。